

2 社会参画の推進

〔現状と課題〕

- 健康寿命が延び「人生 100 歳時代」を迎える中、県民一人ひとりが生涯生きがいを持っていきいきと暮らしていける社会の実現が求められます。
- 現在の高齢者は、全体としてみると健康で活動的であり、価値観やライフスタイルの多様化が進んでいます。団塊の世代（昭和 22 年～24 年生まれ）が退職年齢を過ぎ、この傾向は今後より一層進展することが予想されます。
また、働き方についても、多様化、柔軟化等が求められます。
- 地域共生社会の実現に向けて、高齢者の社会参加等を進め、世代を超えて地域住民が共に支え合う地域づくりを進める必要があります。高齢者が自らの経験や知識をいかしつつ、いきいきと主体的に地域社会に参加できるようにしていくことが大切です。
- 雇用においては、2013(平成 25)年 4 月の改正高年齢者雇用安定法の施行により、段階的に 65 歳までの継続雇用等が義務付けられていますが、依然として高齢者の雇用情勢は厳しい状況にあります。
- 相当数の方が労働市場に出ていく一方、個々の高齢者の働き方のニーズは多様化しています。
- これらを踏まえ、地域社会においても、団塊の世代を含め、高齢者が地域社会を支え合う一員として積極的な役割を果たすことが一層期待されます。
- 今後は、元気な高齢者が、働くことやボランティア活動への参加など、それぞれの希望に応じて活躍できる環境づくりが求められます。

〔目指すべき方向性〕

- 「人生 100 歳時代」において、県民一人ひとりが自分自身の人生の設計図を描き、生涯にわたり輝き続けることができる社会を実現するため、「学びの場」や「活動の場」の創出に向けて取り組みます。
- 高齢者が生きがいをもって暮らせるよう、また、他の世代との相互理解・連帯を深め、人と人とのつながりを進める取組を充実させていくことができるよう、ICT も活用しながら地域貢献などの社会参画活動（ボランティア活動等）を促進し、地域社会で活躍できるしくみづくりを進めます。
- 経験や知識をいかして働く意欲を持った高齢者の多様な就業ニーズに対応した就業支援に取り組みます。

【参考指標】

神奈川県×Peatix 特設ページ「好きかも！を見つけよう」のページビュー数の目標値

(単位：PV)

2019 (令和元)	2020 (令和2)	2021 (令和3)	2022 (令和4)	2023 (令和5)
133,393	120,000	144,000	168,000	192,000

注 2019(令和元)年度は実績、2020(令和2)年度は実績見込み。

< 1 > 地域共生社会の実現に向けた活動への支援

高齢者が地域社会の中で積極的な役割を果たし、生きがいのある生活を送ることができるよう、社会参画活動を支援するための様々な取組を推進することが必要です。

施策の方向

- ◇ 高齢者が、自らの経験、知識、意欲をいかした社会参画活動を通して、いきいきと活躍できるよう、生きがい・健康づくりを推進します。

① 人生 100 歳時代の設計図の取組の推進

「人生 100 歳時代」において、県民一人ひとりが自分自身の人生の設計図を描き、生涯にわたり輝き続けることができる社会を実現するため、県、市町村や大学、NPO 等の多様な主体が参画する「かながわ人生 100 歳時代ネットワーク」を中心に、「学びの場」から「活躍の場」につなぐプロジェクトを推進します。

② 老人クラブ活動の推進

老人クラブは、地域に密着した組織として、自らの健康、生きがい活動や友愛活動をはじめとするボランティア活動を進めています。県では、多様な価値観を持つ高齢者のニーズに対応した魅力あるクラブ活動の推進や、子どもの見守り等の次世代育成支援、安全・安心対策などの取組、また、ICTを活用した、地域や仲間とのつながりを持続できるような取組を、神奈川県老人クラブ連合会や市町村と連携し、支援します。

【主要事業】

- ・ 神奈川県老人クラブ連合会による老人クラブ活動の推進（民間）
地域のニーズに対応した魅力ある活動を進めるため、市町村老人クラブ連合会や単位老人クラブの育成指導などに取り組みます。
- ・ 老人クラブ助成費補助事業（民間）
ボランティア活動、生きがいづくり活動、健康づくり活動や友愛チームによる訪問活動を行う単位老人クラブ、市町村老人クラブ連合会の活動に対し、国、県と協調して支援します。
- ・ 介護予防・生きがいづくり支援事業（県・民間）（再掲：本掲は P88）
- ・ 老人クラブによる訪問活動への支援（県・横浜市・川崎市）（再掲：本掲は P75）

③ ボランティア活動等の推進

かながわボランティアセンターやかながわ県民活動サポートセンター等において、県民のボランティア活動等に対する様々な支援を行います。

また、介護ボランティアポイント制度について未実施の市町村に対し、同制度の普及を図ることにより、高齢者のボランティア活動を推進します。（再掲：本掲は P87）

【主要事業】

- ・ かながわボランティアセンターによるボランティア活動の推進（民間）（再掲：本掲は P41）
- ・ かながわ県民活動サポートセンターにおけるボランタリー活動の推進（県）（再掲：本掲は P41）
- ・ 地域介護予防活動支援事業（市町村）（再掲：本掲は P41）
- ・ 生活支援コーディネーター養成研修（県）（再掲：本掲は P40）

④ 情報アクセシビリティの推進

高齢者や障がい者を含め、誰もが情報通信技術の利便を享受できるようにするなど、情報アクセシビリティを推進します。

【主要事業】

- ・ I T アクセシビリティ推進事業（県）
神奈川県ウェブアクセシビリティ方針に則り、J I S 規格に準拠した県ウェブサイト
の作成に努めるとともに、検証・試験の実施によりウェブアクセシビリティの維持
・ 向上を図ります。

< 2 > 就業に対する支援

働き続ける意欲をもった高年齢者に対し、経験や知識をいかして活躍できるよう、多様な就業ニーズに応える取組を推進する必要があります。

施策の方向

- ◇ **個々の高年齢者の多様な就業ニーズに対応した就業支援に取り組みます。**

① 中高年齢者の就業支援の推進

中高年齢者の多様な就業ニーズに対応するため、40 歳以上の中高年齢者の就業支援を行う「シニア・ジョブスタイル・かながわ」におけるキャリアカウンセリング等と、国の職業紹介をあわせて実施することにより、利用者の利便性を図ります。また、民間教育訓練機関等に委託して、離職者等を対象とした訓練を実施します。

【主要事業】

・「シニア・ジョブスタイル・かながわ」の運営（県）

国（神奈川労働局）との密接な連携のもと、40 歳以上の中高年齢者の多様な働き方の相談に対応する「シニア・ジョブスタイル・かながわ」を運営します。

・離職者等委託訓練事業（県）

民間教育訓練機関等に委託して、様々な実務知識・技能を習得する訓練を実施する、離職者等委託訓練事業において、「中高年向き」のコースを設定し、同コースの定員の 50%を 45 歳以上の中高年優先枠とします。

「シニア・ジョブスタイル・かながわ」でキャリアカウンセリングを利用した者の就職等進路決定率の目標値

(単位：%)

2019 (令和元)	2020 (令和2)	2021 (令和3)	2022 (令和4)	2023 (令和5)
42.6	41.0	45.5	50.0	50.0

注 2019(令和元)年度は実績、2020(令和2)年度は実績見込み。

② シルバー人材センター事業の支援

健康で働く意欲のある高年齢者に、臨時的・短期的または軽易な就業の機会を確保し組織的に提供するシルバー人材センター等の指導・育成を図ります。

【主要事業】

・シルバー人材センターの育成指導（県・市町村）

シルバー人材センター及び生きがい事業団の指導・育成を行うとともに、県内全域でシルバー人材センター事業を展開するために設立された神奈川県シルバー人材センター連合会の機能強化を図るため、助成・指導を行います。